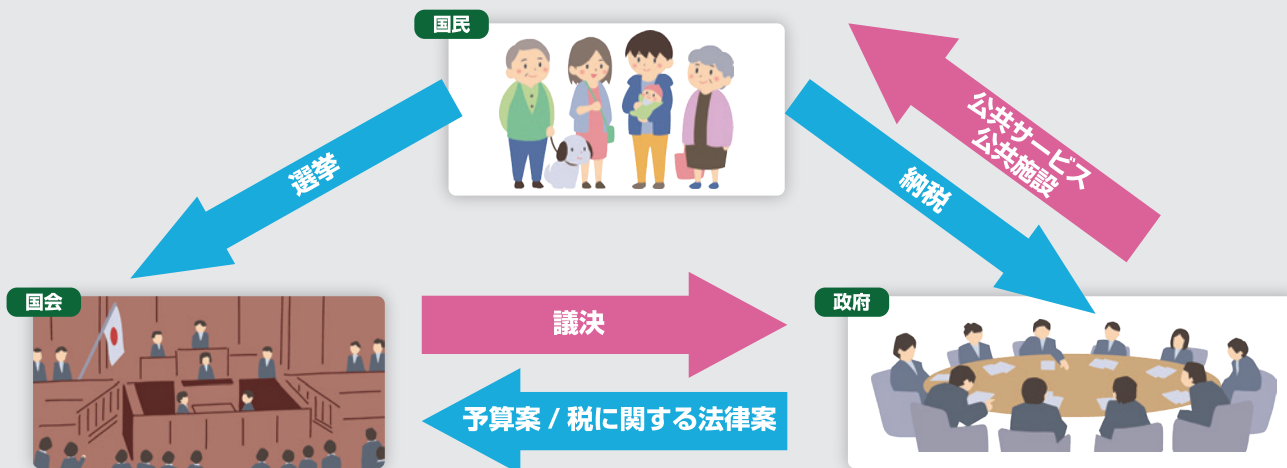


税に関する法律（税負担の方法）と税の使いみち（予算）は、国民が選挙で選んだ代表者である議員が国会で決めています。  
主税局では、税金の仕組みについて、国会で議論するための案を作っています。  
（参考）国税庁では、国の税金を集める仕事をしています。



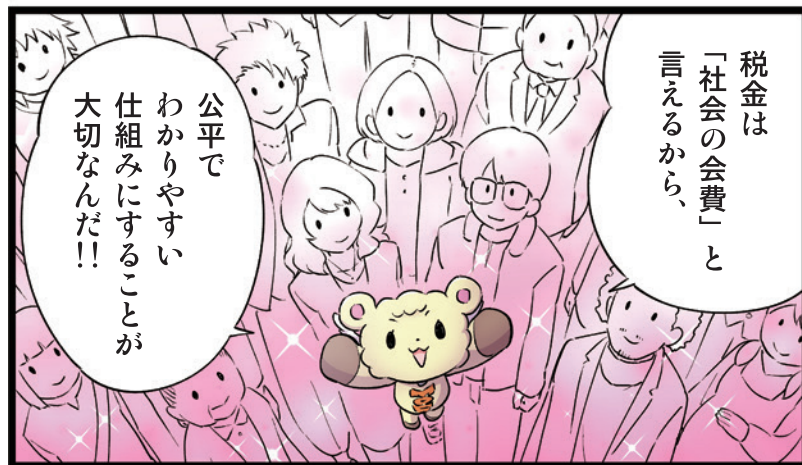
税が決まるまで



日本国憲法

第 83 条【財政処理の基本原則】国の財政を処理する権限は、国会の議決に基づいて、これを行行使しなければならぬ。

第 84 条【課税】あらたに租税を課し、又は現行の租税を変更するには、法律又は法律の定める条件によることを必要とする。



### 消費税はなんで必要なの？

消費税は買い物の際などに誰もが払う税です。皆さんに代わってお店の人が国に納めます。消費税の使い道は法律で決まっています、私たちの生活を支える社会保障（医療、年金、介護、子ども・子育て）に使われています。

日本では、子どもが減りお年寄りが急速に増えていきます（少子高齢化）。お年寄りが増えると、医療、年金、介護を必要とする方が増えることになるので、社会保障にかかる費用は増え続けています。また、子どもを安心して生み、育てることができるよう支援する費用も必要です。その額は税金だけでは賅えず、国が借金をしてやりくりしているのが現状です。

社会保障の費用を主に所得税（給料などから支払う税）で賅おうとすると、働く世代に負担が集中してしまうという側面があります。その点、消費税は、皆さんやお年寄りも含めすべての世代が負担することでその費用を賅い、暮らしの安心を支える役割を果たしています。